

株主総会 質疑応答要旨

2026年6月24日(水)開催の当社「第98回定時株主総会及び普通株主様による種類株主総会」における質疑応答の要旨は次のとおりです。

質 問	回 答
今後 Non-EPC 事業をどのように発展させていく考えか教えてほしい。	今後は単に設備を建設するだけでなく、プロセス開発への関与等を通じ、顧客の事業パートナーとなり、高付加価値な収益モデルを構築していきたい。 例えば、ライフサイエンス分野では、研究開発センター等の設備を活用し、顧客と共に事業を発展させていきたい。
中東情勢が悪化し損失が発生した場合でも、残りの優先株式を償還できるか教えてほしい。	当社案件が所在するカタールにおいて、比較的安定した状況が維持されており、4月に現地を訪問した際も、安全対策が適切に講じられていることを確認している。 仮に情勢悪化による影響が発生した場合でも、契約上の不可抗力条項等に基づき、追加コストの回収について顧客と協議することになる。
個人株主向け施設見学会につき、オンライン（Zoom 等）の活用や、開催回数・開催場所を増やすなど、より多くの株主が参加できるよう改善を検討してほしい。	既に開催回数を増やしているが、想像を大きく超えるご応募をいただいた。 実際に設備を見ていただくことで、株主様に当社事業への理解を深めていただけると考えている。また社員にとっても株主様と直接接する貴重な機会となっている。 オンライン開催も含め、より良い開催方法を検討していきたい。
当期純利益見通し 120 億円についてはやや物足りない印象がある。 今後の成長のためには、中東の復旧需要含めた大型案件の受注が重要と考えるが、受注環境や今後の見通しについて伺いたい。	2025 年度は一過性要因による利益押し上げ効果もあったため、2026 年度計画はそうした特殊要因を除いた水準として設定している。 更なる受注獲得を進め、計画を上回る収益を目指していきたい。

以 上